様式第１号（住宅）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日

 山形県知事　殿

申請者（施主）は代表者1名

口座名義人と同一人物

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 郵便番号 | 990-0000 |
| 住所 | ○○市○○町○丁目○-○ |
| 氏名（フリガナ） | ヤマガタ　タロウ |
| 氏名 | 山形　太郎 |
| 電話番号 | 090-○○○○-○○○○ |

令和７年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業費

補助金交付申請書

　令和７年度において山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業について、標記補助金を交付されるよう、山形県補助金等の適正化に関する規則第５条の規定により、関係書類を添付して下記のとおり申請します。

記

１．補助金交付申請額　　　　　　　　　○○○○○○　円

２．事業計画概要

小数点第２位まで

|  |  |
| --- | --- |
| 建設場所の地名・地番 | □□市□□町□丁目□番□号 |
| 施設の所有者名 | ○○　○○ |
| 工事の期間小数点第２位以下切り捨て（(A)(B)共に） | 着　　　工 | 令和　○年　○月　○日　　 |
| 屋根工事完了注１ | 令和　○年　○月　○日（予定） |
| 木工事完了 | 令和　○年　○月　○日（予定） |
| 施設の延べ床面積(㎡) | 137.86　㎡ |
| 内訳 | 構造材相当の材積注２ | 県産木材使用予定量注３ | 県産木材使用率（B/A×100）注４ |
| （A）　　　　　　13.7　㎥ | （B）　　　　　　　16.8　㎥ | 　　　　　　　　　　　　122.6　% |
|  |
| ※内訳記入例（延べ床面積40坪（132㎡）の場合） |
| 内訳 | 構造材相当の材積 | 県産木材使用予定量 | 県産木材使用率（B/A×100） |
| （A）　132×0.1＝13.2　㎥ | （B）　　　　　　14.1　　㎥ | 　　　　　　　　　106.8　　　　％ |

注１　『屋根工事完了』欄には、野地板の施工が完了（内装の工程に入る前）する日付を記入する。『木工事完了』欄には、県産木材に係る工事が完了する日付を記入する。

注２　『構造材相当の材積』(A)欄には、施設の延べ床面積(㎡)×0.1で算出される数値を記入する。（小数第２位以下切捨て、以下同じ）

注３　『県産木材使用予定量』(B)欄には、『「やまがたの木」認証制度』により産地証明された木材の使用量を記入する。この場合、使用する部位は構造材に限定しない。

注４　『県産木材使用率』欄には、県産木材使用予定量(B)／構造材相当の材積(A)×100で算出される数値を記入する。（100％以上が条件）

（第１面）

３．施工者

事業者番号を記載

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工 事関係者 | 工 事 監 理 者 | 施　　工　　者 | 県 産 木 材 納 品 者 |
| 「やまがたの木」認定事業者番号○○○ |
| 住 所 | 〒990-1234△△市△△町△丁目△ | 〒990-1234△△市△△町△丁目△ | 〒990-1234◇◇市◇◇町◇◇-◇◇ |
| 会社名 | △△設計事務所 | △△工務店 | ◇◇製材所 |
| 氏 名 | （監理者氏名）　　　　　○○　○○　　　　　 | （代表者職氏名）　　　　　○○　○○　　　　　 | （代表者職氏名）　　　　　　○○　○○　　　 |
| 電話番号 | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ |
| FAX番号 | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ |

４．納品証明内訳書

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 県　産　木　材　使　用　量 |
| 材　積（㎥） | 樹　種 | 産 地 の市 町 村 名 | 木 材 の管 理 番 号 |
| 軸　　　組 | 通し柱 |  |  |  |  |
| 管　柱 |  |  |  |  |
| 間　柱 | 2.8595 | スギ | ○○町 | 001 |
| 胴差・桁・梁 | 4.3396 | スギ | ○○町 | 001 |
| 土台・大引き |  |  |  |  |
| 筋かい・貫 | 1.5020 | スギ納品明細書と合致しているか確認ください。 | ○○町 | 001 |
| 根　太 |  |  |  |  |
| 小　計　① | 8.7011 |  |  |  |
| 小屋組 | 母屋・棟木・小屋束 | 2.0727 | スギ | ○○町 | 001 |
| 垂 木 | 1.7982 | スギ | ○○町 | 001 |
| 小　計　② | 3.8709 |  |  |  |
| 構造材の計（＝①＋②） | (ｱ)12.5720 | 構造材のみの県産木材使用量(ｱ)≧県産木材必要量(ｵ)の場合、(ｲ)欄は記入せず、(ｴ)欄には(ｱ)欄と同じ数値を御記入ください。 |
| 構造材以外の部位( 納 品 済 み ) | (ｲ)納品明細書と合致しているか確認ください。 | 　構造材のみの県産木材使用量(ｱ)＜県産木材必要量(ｵ)の場合、野地板、造作材、内装材等構造材以外の部位に使用する県産木材（これから納品される予定を含む。）の材積を算入することができます。木材使用量ではなく、延床面積から算出される数量です。 |
| 構造材以外の部位 ( 納 品 予 定 ) | (ｳ)4.2364 |
| 合　　　　　計 | (ｴ)=(ｱ)+(ｲ)+(ｳ)16.8084 | 県産木材使用量(ｴ)≧県産木材必要量(ｵ)であることを御確認ください。 |
|  (ｵ)　県産木材必要量 =施設の延べ面積(㎡)×0.1 = 13.7　㎥（小数第２位以下切捨て） |

※　県産木材とは、「やまがた県産木材利用センター」が実施する『「やまがたの木」認証制度』に

より産地証明された木材です。

（第２面）

５．チェックリスト　　　※該当する□に✓を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 共通 | □　申請者及び工事施工者等の住所・氏名等が記載されている。□　申請者は交付要綱第６条の２に係る除外要件に該当していない。□　申請書の提出日が、基礎工事着工後から屋根工事完了の10日前までであり、かつ申請書を提出してから現地検査を受けることができる。（「屋根工事完了」とは、概ね上棟後から野地板施工完了までの時点を指します。）□　令和８年３月31日までに実績報告が提出できる。□　建設工事概要が全て記載されている。□　申請者は令和７年度当該補助金の交付を受けていない。□　構造材相当の数量に対し県産認証材を100％以上使用している。 |
| 住宅の場合 | □　「やまがた省エネ健康住宅支援事業」・「やまがた省エネ健康住宅・再エネパッケージ補助金」との併用をしていない。 |
| 民間施設の場合 | □　県産認証材のうち県産JAS製品を10％以上使用している。□　※やまがた木造設計マイスター又は国等が実施した同様の研修を受講した者が設計に携わった場合やまがた木造設計マイスター等申告書（別紙１） |
| 添付書類 | □　建設工事請負契約書の写し等、工事費の内容が確認できる書類□　施設の位置図又は案内図（周辺道路から建設場所までの行程が確認できる図面）□　施設の配置図又は平面図（施設の配置や面積等が分かる図面）□　口座振替申込書（様式第３号）　※通帳等の写しを添付□　基礎工事着工後の建設工事現場カラー写真□　「やまがた県産木材利用センター」が実施する『「やまがたの木」認証制度』の「販売管理票」□　県産木材使用量を確認できる書類　例）木工事の「内訳積算書」、木材の「納品明細書」等□　※｢やまがた県産材合板｣等を使用した場合　｢やまがた県産材合板｣等使用報告書（別表）　 |
| 森林整備課担当者記入 | □　上記該当箇所を確認した。 |

 工事施工者　住　所 △△市△△町△丁目△

会社名 △△工務店

代表者職氏名　○○　○○

様式第２号（民間施設）

（第３面）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日

 山形県知事　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 郵便番号 | 990-0000 |
| 住所※ | ○○市○○町○丁目○-○ |
| 氏名（フリガナ） | カブシキガイシャヤマガタヤマガタ　ハナコ |
| 氏名※ | 株式会社やまがた代表　山形　花子 |
| 電話番号 | ○○○-○○○-○○○○ |

※法人の場合は、所在地、名称及び代表者名を記載

令和７年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業費

補助金交付申請書

　令和７年度において、山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業について、標記補助金を交付されるよう、山形県補助金等の適正化に関する規則第５条の規定により、関係書類を添付して下記のとおり申請します。

記

１．補助金交付申請額　　　　　　　　　　○○○○○○円

２．事業計画概要

小数点第２位以下切り捨て（(A)(B)共に）

|  |  |
| --- | --- |
| 建設場所の地名・地番 | □□市□□町□丁目□番□号小数点第２位まで |
| 施設の所有者名（施設名） | ㈱やまがた　代表　山形　花子（○○美容室） |
| 工事の期間 | 着　　　工 | 令和　○年　○月　○日 |
| 屋根工事完了注１ | 令和　○年　○月　○日（予定） |
| 木工事完了 | 令和　○年　○月　○日（予定） |
| 施設の延べ床面積(㎡) | 　　　51.61　　　㎡ |
| 内訳 | 構造材相当の材積注2 | 県産木材使用予定量注3 | 県産木材使用率(B/A×100)注4 |
| (A)　　　　　　5.1　㎥ | (B)　　　　　　　　5.2　㎥ | 101.9　％ |
| 県産JAS製品使用量 | 県産JAS製品使用率(C/B×100) | 補助金交付申請額（B×20,000円）注5 |
| (C)　　　　　　0.7　㎥ | 　13.4　％ | (D)　　　　　　　　104,000　円 |
| やまがた木造設計マイスター等氏　名 | やまがた木造設計マイスター修了証番号又は受講した国等の講習会名 | マイスター加算後補助金交付申請額（D＋100,000円）注6 |
| ○○　○○ | ○○○○○ | 204,000　円 |

注１『屋根工事完了』欄には、野地板の施工が完了（内装の工程に入る前）する日付を記入する。『木工事完了』欄には、県産木材に係る工事が完了する日付を記入する。

注２『構造材相当の材積』(A)欄には、施設の延べ床面積(㎡)×0.1で算出される数値を記入する。（小数第２位以下切捨て、以下同じ）

注３『県産木材使用予定量』(B)欄には、『「やまがたの木」認証制度』により産地証明された木材の使用量を記入する。この場合、使用する部位は構造材に限定しない。また、外構施設等の木材使用量を含めることができるものとする。

やまがた木造設計マイスター又は国等が実施した

同様の研修を受講した者が設計に携わった場合

記載する。

注４『県産木材使用率』欄には、県産木材使用予定量(B)／構造材相当の材積(A)×100で算出される数値を記入する。

注５『補助金交付申請額』(D)欄には、県産木材使用予定量(B)×20,000円で算出される金額を記載する（上限500,000円）

注６『マイスター加算後補助金交付申請額』欄には、補助金交付申請額(D)＋100,000円で算出される金額を記載する。

（第１面）

３．施工者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工 事関係者 | 工 事 監 理 者 | 施　　工　　者 | 県 産 木 材 納 品 者 |
| 「やまがたの木」認定事業者番号○○○ |
| 住 所 | 〒990-1234△△市△△町△丁目△ | 〒990-1234△△市△△町△丁目△ | 〒990-1234◇◇市◇◇町◇◇-◇◇ |
| 会社名 | △△設計事務所 | △△工務店 | ◇◇製材所 |
| 氏 名 | （監理者氏名）　　　　　○○　○○　　　　　 | （代表者職氏名）　　　　　○○　○○　　　　　 | （代表者職氏名）　　　　　　○○　○○　　　 |
| 電話番号 | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ |
| FAX番号 | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ | ○○○（○○○）○○○○ |

４．納品証明内訳書

|  |  |
| --- | --- |
| 部　　位 | 県　産　木　材　使　用　量 |
| 材　積（㎥） | 樹　種 | 産 地 の市 町 村 名 | 木 材 の管 理 番 号 |
| 軸　　　組 | 通し柱 |  |  |  |  |
| 管　柱 |  |  |  |  |
| 間　柱 | 0.9015 | スギ | ○○市・○○町 | 199・200 |
| 胴差・桁・梁 | 1.0521 | スギ | ○○市・○○町 | 199・200 |
| 土台・大引き |  |  |  |  |
| 筋かい・貫 | 0.5252 | スギ | ○○市 | 199 |
| 根　太 |  |  |  |  |
| 小　計　① | 2.4788 | 納品明細書と合致しているか確認ください。 |  |  |
| 小屋組 | 母屋・棟木・小屋束 |  |  |  |  |
| 垂 木 | 0.8100 | スギ | ○○市 | 199 |
| 小　計　② | 0.8100 |  |  |  |
| 構造材の計（＝①＋②） | (ｱ)3.2888 |  |
| 構造材以外の部位( 納 品 済 み ) | (ｲ)納品明細書と合致しているか確認ください。1.9150 | 　野地板、造作材、内装材等構造材以外の部位及び同一施設内において当該施設と同時に施工する外構施設等に使用する県産木材（これから納品される予定を含む。）の材積を御記入ください。木材使用量ではなく、延床面積から算出される数量です。 |
| 構造材以外の部位 ( 納 品 予 定 ) | (ｳ) |
| 合　　　　　計 | (ｴ)=(ｱ)+(ｲ)+(ｳ)5.2038 | 県産木材使用量(ｴ)≧県産木材必要量(ｵ) であることを御確認ください。 |
|  (ｵ)　県産木材必要量 =施設の延べ面積(㎡)×0.1 = 5.1　㎥（小数第２位以下切捨て） |
| 県産JAS製品使用量 | (ｶ)0.7　㎥ | 県産JAS製品使用率 | (ｷ)=(ｶ)/(ｴ)×10013.4％ | 県産JAS製品使用率(ｷ)が10％以上であることを御確認下さい。 |

※　県産木材とは、「やまがた県産木材利用センター」が実施する『「やまがたの木」認証制度』に

より産地証明された木材です。

（第２面）

５．チェックリスト　　　※該当する□に✓を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 共通 | □　申請者及び工事施工者等の住所・氏名等が記載されている。□　申請者は交付要綱第６条の２に係る除外要件に該当していない。□　申請書の提出日が、基礎工事着工後から屋根工事完了の10日前までであり、かつ申請書を提出してから現地検査を受けることができる。（「屋根工事完了」とは、概ね上棟後から野地板施工完了までの時点を指します。）□　令和８年３月31日までに実績報告が提出できる。□　建設工事概要が全て記載されている。□　申請者は令和７年度当該補助金の交付を受けていない。□　構造材相当の数量に対し県産認証材を100％以上使用している。 |
| 住宅の場合 | □　「やまがた省エネ健康住宅支援事業」・「やまがた省エネ健康住宅・再エネパッケージ補助金」との併用をしていない。 |
| 民間施設の場合 | □　県産認証材のうち県産JAS製品を10％以上使用している。□　※やまがた木造設計マイスター又は国等が実施した同様の研修を受講した者が設計に携わった場合やまがた木造設計マイスター等申告書（別紙１） |
| 添付書類 | □　建設工事請負契約書の写し等、工事費の内容が確認できる書類□　施設の位置図又は案内図（周辺道路から建設場所までの行程が確認できる図面）□　施設の配置図又は平面図（施設の配置や面積等が分かる図面）□　口座振替申込書（様式第３号）　※通帳等の写しを添付□　基礎工事着工後の建設工事現場カラー写真□　「やまがた県産木材利用センター」が実施する『「やまがたの木」認証制度』の「販売管理票」□　県産木材使用量を確認できる書類　例）木工事の「内訳積算書」、木材の「納品明細書」等□　※｢やまがた県産材合板｣等を使用した場合　｢やまがた県産材合板｣等使用報告書（別表）　 |
| 森林整備課担当者記入 | □　上記該当箇所を確認した。 |

工事施工者　住　所 △△市△△町△丁目△

会社名 △△工務店

代表者職氏名　○○　○○

（第３面）

様式第３号

口座番号に誤りがないか確認してください。

|  |
| --- |
| 口座振替申込書 |
| 振込先銀行名 | ○○銀行　　　　　　　　○○店 |
| 預金の種類 | 普　　通　　　・　　　当　　座 |
| 口座名　 　義　　　人 | フリガナ　　　　　　　ヤマガタ　タロウ |
| 山形　太郎 |
| 口座番号 | 　　NO　.　　　　１２３４５６ |
| 　　県公金の支払いについては、上記のとおり口座振替されるよう申し込みます。　　令和　○年　○月　○日住　　所※　　○○市○○町○丁目○-○　（フリガナ）　 　ヤマガタ　タロウ　　　　　　　氏　 　名※ 山形　太郎　　　　　　　　　　※　法人の場合は、所在地、名称及び代表者名を記載電話番号　　　090-○○○○-○○○○　　　　　　山形県知事　殿 |

別紙１

やまがた木造設計マイスター等申告書

　　 　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日

山形県知事　殿

申請者　株式会社やまがた　代表　山形　花子

（法人にあっては、名称及び代表者）

電話番号　○○○－○○○－○○○○

令和７年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業費補助金交付要綱に基づき、下記のとおり、やまがた木造設計マイスター又は国等が実施した同様の研修を受講した設計者が民間施設の設計に携わったことを申告します。

１　申告内容（やまがた木造設計マイスターの場合のみ記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| やまがた木造設計マイスター研修を受講した設計者 | 修了者氏名 | 修了証番号 |
| ○○　○○ | ○○○○○ |

２　申告内容（国等が実施した同様の研修注１を受講した設計者の場合のみ記入）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 国等が実施した同様の研修を受講した設計者 | 修了者氏名 | 修了証番号 |
|  |  |
| 実施主体 | 受講した講習会注１ |
|  |  |

※注１　例）都市木造建築物設計支援事業　等

※　国等が実施した同様の研修を受講した場合は修了証の写しを添付

様式第８号（住宅）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日

 山形県知事　殿

交付決定通知から転記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 郵便番号 | 990-0000 |
| 住所 | ○○市○○町○丁目○-○ |
| 氏名（フリガナ） | ヤマガタ　タロウ |
| 氏名 | 山形　太郎 |
| 電話番号 | 090-○○○○-○○○○ |

令和７年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業

実績報告書

　令和　○年　○月　○日付け○○○第○○号で交付決定の通知がありました標記補助事業について、山形県補助金等の適正化に関する規則第14条の規定により、その実績を関係書類を添付して報告します。

記

１．建設工事概要

|  |  |
| --- | --- |
| 建設場所の地名・地番 | □□市□□町□丁目□番□号 |
| 施設の所有者名 | ○○　○○ |
| 交付申請時の所有者住所 | ○○市○○町○丁目○-○交付申請書から転記 |
| 施工者 | 住所　△△市△△町△丁目△ |
| 氏名・名称　△△工務店　○○　○○ |
| 電話番号（○○○ －○○○－○○○　　　　　　　　　　） |
| 工事の期間 | 着 工 | 令和　○年　○月　○日 |
| 木工事完了注１ | 令和　○年　○月　○日 |
| 完 成 | 令和　○年　○月　○日（予定） |

交付申請書から転記

２．工事実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 内訳 | 構造材相当の材積注２ | 県産木材使用量注３ | 県産木材使用率（B/A×100）注４ |
| （A）　　　　　13.7　㎥ | （B）　　　　　16.8　㎥ | 　　　　　　　122.6　% |

注１　『木工事完了』欄には、県産木材に係る工事が完了した日付を記入する。

注２　『構造材相当の材積(㎥)』(A)欄には、施設の延べ床面積(㎡)×0.1で算出される数値を記入する。（小数第２位以下切捨て、以下同じ）

注３　『県産木材使用量(㎥)』(B)欄には、『「やまがたの木」認証制度』により産地証明された木材の使用量を記入する。この場合、使用する部位は構造材に限定しない。

注４　『県産木材使用率(％)』欄には、県産木材使用量(B)／構造材相当の材積(A)×100で算出される数値を記入する。

３．添付書類　　　※該当する□に✓を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 共通 | □　木工事完了写真 |
| その他 | □　知事が必要と認める書類　 |

様式第９号（民間施設）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　○年　○月　○日

 山形県知事　殿

交付決定通知から転記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 郵便番号 | 990-0000 |
| 住所※ | ○○市○○町○丁目○-○ |
| 氏名（フリガナ） | カブシキガイシャヤマガタヤマガタ　ハナコ |
| 氏名※ | 株式会社やまがた代表　山形　花子 |
| 電話番号 | ○○○-○○○-○○○○ |

※法人の場合は、所在地、名称及び代表者名を記載

令和７年度山形県県産認証材「やまがたの木」普及・利用促進事業費

補助金実績報告書

　令和　○年　○月　○日付け○○○第○○号で交付決定の通知がありました標記補助事業について、山形県補助金等の適正化に関する規則第14条の規定により、その実績を関係書類を添付して報告します。

記

１．建設工事概要

交付申請書から転記

|  |  |
| --- | --- |
| 建設場所の地名・地番 | □□市□□町□丁目□番□号 |
| 施設の所有者名（施設名） | ㈱やまがた　代表　山形　花子（○○美容室） |
| 交付申請時の所有者住所 | ○○市○○町○丁目○-○交付申請書から転記 |
| 施工者 | 住所△△市△△町△丁目△ |
| 氏名・名称　△△工務店　○○　○○ |
| 電話番号（○○○ －○○○－○○○　　　　　　） |
| 工事の期間 | 着　　工 | 令和　○年　○月　○日 |
| 木工事完了注1 | 令和　○年　○月　○日 |
| 完　　成 | 令和　○年　○月　○日（予定） |

２．工事実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 内訳 | 構造材相当の材積注2 | 県産木材使用量注3 | 県産木材使用率(B/A×100)注4 |
| (A)　　　　　　　5.1　㎥ | (B)　　　　　　　　　5.2　㎥ | 101.9　％ |
| 県産JAS製品使用量 | 県産JAS製品使用率(C/B×100) | 補助金額（B×20,000円） |
| (C)　　　　　　　0.7　㎥ | 13.4　％ | (D)　　　　　　　　104,00　円 |
| やまがた木造設計マイスター等氏　名 | やまがた木造設計マイスター修了証番号又は受講した国等の講習会名 | マイスター加算後補助金交付申請額（D＋100,000円） |
| ○○　○○ | ○○○○○ | 204,000　円 |

注１　『木工事完了』欄には、県産木材に係る工事が完了した日付を記入する。

注２　『構造材相当の材積(㎥)(A)』欄には、施設の延べ床面積(㎡)×0.1で算出される数値を記入する。（小数第２位以下切捨て、以下同じ）

注３　『県産木材使用量(㎥)(B)』欄には、『「やまがたの木」認証制度』により産地証明された木材の使用量を記入する。この場合、使用する部位は構造材に限定しない。また、外構施設等の木材使用量を含めることができるものとする。

注４　『県産木材使用率(％)』欄には、県産木材使用量(B)／構造材相当の材]積(A)×100で算出される数値を記入する。

３．添付書類　　　※該当する□に✓を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 共通 | □　木工事完了写真 |
| その他 | □　知事が必要と認める書類　 |

別紙２

**（　住宅　・　民間施設　）の木工事完了写真**

□木工事完了写真①　（外観全景、カラー)

□木工事完了写真②　（内観全景、カラー)

|  |
| --- |
|   |

|  |
| --- |
|  |

注１　写真については別途添付しても結構です。